

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2 期連続トップ当選

舛添知事の辞任求める決議提出/過半数に満たず

私が所属する保守連合は「舛添知事の辞職を求める決議」を動議で提出しました。定例議会の最終日に採決するのでなく、当日に採決を求めるためでした。公明党からも別の決議案(真相究明を求める決議)が出たことで、即日採決が認められました。*他の議会では、動議で決議を提出させないことで、実質的な判断ができないケースも見られます。

保守連合案の提出には、共産党が代表署名で乗り、公明党案には自民党が代表署名をして、両案が議事の対象になり、それぞれに採決されました。町田市議会には、「まちだ市民クラブ」と言う会派があり、その案に意見表明がなく、その会派の賛否が割れました。議会の議員数(議長を除いて 35 名。18 名で過半数)の関係で、その会派が保守連合案に参加すれば、「舛添知事の辞職を求める決議」が多数で決したのですが残念です。提出者の会派構成で、「まちだ市民クラブ」以外の賛否はわかっていたので、同会派の動向にかかっています。ちなみ、賛成議員は、保守連合と共産党の全員が賛成し、「まちだ市民クラブ」所属議員では、生活者ネット 2 名、社民党 1 名、おおさか維新の会 1 名の賛成と旧民主党議員 1 名の賛成がありました。旧結の党 1 名と旧民主党 3 名の賛成が得られませんでした。

と言う経過で、保守連合案の後に採決が行われた公明党案に議員全員が賛成することになりました。町田市議会が先駆的なスタンスを取る機会を逸しました。

ボランティアは行政の下請けではないという江川紹子さんに注目

私は、被災地支援の活動(行政職員やその委託業者従業員の現地派遣)の在り方に着目しました。それは、被災が軽微な熊本県内北部でも十分に宿泊できるのに、それらの宿泊先が福岡県内に優先して選定されている点を発見し、被災地支援の観点で不足しているという問題提起を初めて行いました。福岡県は私の出身県ですが地震の被害はゼロに近く、熊本地震の復興予算の使途を精査することがあると主張しているわけです。

他方、被災地支援の活動に関して、江川紹子さん(現在、フリーランスジャーナリスト)は、外部ボランティアは行政の下請けではないという観点で、行政万能の考えを批判し、外部ボランティアの行動が行政の復旧支援活動の一律性で足りない点を補う役割を担っている点を主張しています。今回、被災地で個人の生活復旧が遅れる原因の一つに、外部ボランティア迷惑論が被災直後に大々的に述べられ、外部ボランティア応援が広がらないことにあると思っています。



★無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ(市議会議員)

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

研修レポート⑤藤澤美彩子



恵泉女学園大学 3 年生 藤澤美彩子 (第 38 期)

町田市忠生にある『しぜんの国保育園』を訪ね、齋藤紘良園長先生とお話しする時間をいただきました。普段聞く機会のないお話を聞き大変勉強になりました。私が描いていた保育園とは全く違い良い意味で期待を裏切られました。またこの園では年齢別保育を主に年齢の壁を越えて保育する異年齢保育を取り入れているそうです。そして 1 日の行動を私たち大人が決めて指示を出す訳ではなく、子どもたち自身で 1 日を考えて決断するところがあるところがほかの園ではなかなか見ることのない光景なのではないでしょうか。

この保育園では、自然の中で遊ぶことを大事にされていました。都市化が進む一方豊かな自然が少なくなり、触れ合う機会はどんどん減ってきているなかで子どもたちが園庭で自然とふれあいのびのびと自由に遊び、また泥まみれになって木の実や葉っぱなどをお部屋に帰ってくる姿はとても新鮮でした。また生活・食事・遊ぶ場など細かく分かれており、メリハリのついた生活が送れるように工夫され、内装も外装も保育園とは思わないスタイリッシュな建物で環境が整っているという事から、教育理念を支持する方が多く遠方から在園児もいるの事でした。このような子どもたちの意見を尊重し、のびのびと過ごせるような園が増えるといいなと感じます。

研修レポート①御子柴 綾乃

新たにインターンシップに参加させていただくこととなりました。エントリーシートを提出後、予約の面接で、インターンシップの概要や具体的な内容についての説明を受けました。私は大学で管理栄養士の資格取得を目指し学んでいます。その為、様々な給食施設や病院、保健衛生分野の仕事に興味があり、そのような方々を訪問してみたいという希望を吉田議員に伝えていました。説明では私が希望するような内容の他、コンサート運営の補助やボランティア活動、その他訪問活動等、様々なことを行えると知り、早く体験したい思いが強まりました。

又、過去のインターン生の方々の例を写真を交えて話していただきました。吉田議員が 20 年近く行わるインターンシップの参加者は多岐にわたり、多くの話に興味を惹かれました。そのように長く続いているインターンシップに参加することができるということとなり、期待が高まると同時に気の引き締まる思いでした。最初はとても緊張していましたが、その柔らかな語り口のおかげでだんだんと緊張がほぐれていきました。議員の顔なじみの方々とも話をさせていただき、皆さんのお人柄を感じました。



専攻女子大 3 年生 御子柴綾乃 (第 38 期生)

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)